

源運大德奉 承澄大德不參  
 尊仁大德奉 幸淳大德奉  
 貞成大德奉 正成大德奉  
 禪永大德奉 舜雅大德奉

輕海郷の文書を保管す。  
 【稱名寺文書】 武藏  
 預置 金澤稱名寺御文書目録事  
 賀州輕海郷分

右依恒例所唱如件。  
 觀應三年十月廿四日 勸進 祐 運住山

壹通 關東寄附狀 嘉曆四年二月廿二日  
 壹通 同 御教書 元德二年三月十三日

(この年九月廿七日武家方は文和と改元せり。然るに本文書は十月廿四日に在りて尙觀應の號を用ふ。)

(中略)

十月廿九日。能登守護吉見氏頼、同國の士得田素章にその軍忠を賞し、幕府に注進すべきことを告ぐ。

右兩所御文書等、依京都御分國所預置如件。  
 文和元年十一月十三日 實 有 在判

【得田文書】

四二〇

越中國凶徒爲對治發向之處、屬當手致軍忠之條、殊以神妙也。以此旨可令注進之狀如件。

【稱名寺文書】  
 進上 御文書目録事  
 一、輕海郷分  
 關東御寄附狀 嘉曆四年二月廿二日  
 同 御教書 元德二年三月十三日  
 已上貳通  
 (中略)

文和元年十月廿九日

(吉見氏頼)  
 三河守 在判

得田次郎左衛門入道殿

十一月十三日。僧實有、武藏金澤稱名寺領能美

右進上如件。

文和二年三月廿八日

雲 □ 在判

(第二通は之を合叙す。)

十一月廿四日。石川郡白山宮莊嚴講勸進、明日を以て地藏院に講衆を招集す。

【白山莊嚴講中記録紙背文書】

四二四

【白山宮莊嚴講中記録紙背文書】

四二三

明日午刻於地藏院

可有御集來矣

見聞

立政權律師奉 貞澄權律師  
 善耀權律師奉 禪祐阿闍梨奉  
 承覺權律師奉 一運阿闍梨奉  
 連海大德 詮乘大德奉  
 禪俊大德奉 豪運大德奉

白山寺 莊嚴講所  
 源運大德奉 承澄大德奉  
 尊仁大德奉 祐運大德住山  
 貞成大德奉 正成大德  
 禪永大德奉 舜雅大德奉

右依恒例所唱如件。

文和元年十一月廿四日 勸進 幸 淳

十二月十五日。足利義詮、吉見氏頼に、能登の地頭御家人にして去年直義に屬したるもの所の領安堵を慎重にせしむ。

【得田文書】

四二五

右依恒例所唱如件。

文和元年十一月廿四日

勸進 幸 淳

能登國地頭御家人内、去年參高倉殿方輩事、於今者於大略御方致忠節云々。而不及忠否沙汰、一旦就望申被付給人之類在之歟。縱雖帶御下文施行、於如然之輩跡